

**令和2年度福井工業高等専門学校教育後援会
第2回役員会議事要旨（案）**

日 時 令和3年2月26日（金）19時00分～20時50分
場 所 福井工業高等専門学校 大会議室
出席者 役員：会長、副会長3、監事1、理事7 《以上12名》
本校：校長、副校長（総務・企画主事）、副校長（教務主事）、校長補佐（学生主事）、
校長補佐（専攻科長）、校長補佐（寮務主事）、校長補佐（研究産学連携主事）
事務部長、総務課長、学生課長、学生生活係長、学生生活係員 《以上12名》

議事に先立ち、高畑会長から挨拶があり、続けて田村校長からの挨拶のあと、議事に入った。

I 審議事項

(1) 令和2年度事業報告（案）及び決算書（案）について

学生課長から、事業報告（案）及び決算書（案）、積立金会計決算書（案）、学生駐車場会計決算書（案）について資料1-1～1-4に基づきそれぞれ説明があった。

併せて、現在年度途中であること、会計監査を経て決算額が確定するため総会資料では金額は少し変動する旨の説明があった。また、次のような質疑応答があり、審議の結果、原案どおり了承された。

役員側質問

「学生駐車場会計、除草費は駐車場部分の金額か。学校内敷地分はどこからの支出になっているのか」

本校側回答

「学生駐車場会計での除草費は学生駐車場分のみ。学校内敷地分は別途予算がある」

(2) 令和3年度役員選出について

学生課長から、役員選出について資料2及び参考資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(3) 令和3年度事業計画（案）及び予算書（案）について

学生課長から、事業計画書（案）、予算書（案）、積立金会計予算書（案）、学生駐車場会計予算書（案）について資料3-1～3-4に基づきそれぞれ説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

(4) 令和3年度総会について

会長から、資料4に基づき総会の開催方法を集合形式でなく書面としたいとの提案があり、審議の結果、了承された。なお、先に了承された審議事項（1）～（3）を総会資料として審議にかける旨、説明があった。

II 報告事項

(1) 学校状況について

① 副校長(総務・企画主事)所管事項報告

上島副校長から、一般教育棟の改修工事が完了したとの報告があった。また、令和3年度以降の整備計画についての説明があった。

② 副校長(教務主事)所管事項報告

藤田副校長から、令和3年度入試状況、令和2年度就職状況及び令和2年度進学状況について、資料5-1～資料6に基づきそれぞれ説明があった。資料5-1については2月25日の合格発表のデータを反映し差替えをした。

③ 校長補佐(専攻科長)所管事項報告

佐藤校長補佐から、令和3年度専攻科入試状況、令和2年度専攻科就職状況及び令和2年度専攻科進学状況について、資料5-2～5-3及び資料6に基づきそれぞれ説明があった。

④ 校長補佐(学生主事)所管事項報告

中谷校長補佐から、令和2年度学生の課外活動状況及び令和2年度学生表彰受賞者について、資料1-1、資料7に基づきそれぞれ説明があった。

⑤ 校長補佐(寮務主事)所管事項報告

原口校長補佐から、令和2年度在籍寮生数及び学寮年間行事報告について、資料8に基づき説明があった。

(2) 令和2年度優秀学生賞伝達式・第2回学生表彰受賞者表彰式並びに第52回卒業証書授与式及び第22回修了証書授与式の挙行について

総務課長から、資料9に基づき説明があった。

III その他

続けて、議事全体に対して、以下のとおり質疑応答が行われた。

役員側質問

「学寮整備について、寮のネット環境、Wi-Fi整備などはどうなるのか」

本校側回答

「建物により鉄の扉などがあり無線の整備には障害が大きい。新寮建設にあたり考査している」

田村校長から

「学校全体の高速通信化を進めている。5G通信の基地局を校内に設置する準備を進めている」

役員側質問

「令和2年度新入生オリエンテーションが中止になった。新2年生にもイベントを開催してほしい」

本校側回答1

「令和2年度の中止行事については今後の検討としたい」

田村校長から

「入学式の代替として9月に新入生を祝う会を開催した。3年生の研修旅行等、他の学年も学内外の行事が開催できなかった。学生のための企画を検討したい」

本校側回答2

「2年生は校外研修に企業訪問があるが、来年度の開催については県内企業での開催も含め検討しているけれども難しい状況にある。そのため担当教員には先輩講座の充実を依頼している。仮に開催できる状況になればバス代等について教育後援会に協力をお願いすることになるのではないかと思う」

役員側質問

「魅力ある学校、高専の特色について」

「就職してから有利になる資格を取らせたり、教職員が取得した資格を学生に還元すること、また、資格取得者に報奨金を出す等、資格取得への意欲向上に関する取組は出来ないか」

田村校長から

「魅力ある高専の部分で5G通信環境整備をきっかけに一般教育棟で高速通信が可能になる。高度情報化社会への対応に取り組んでいることを高専の魅力の一部にしたい」

本校側回答

「資格取得に関して、環境都市工学科では技術師（1次試験、2次試験）機械工学科では機械技術者3級等がある。機械工学科では4、5年生対象に補習（土、日）を開催しているほか、工業英検取得者は成績表に記載し、5年次に英語特講への単位振替をしている」

役員側質問

「PCの機材、通信環境などについて、更新状況はどうなっているか」

本校側回答

「情報処理センターは令和2年4月に機種更新をしている。PC、スマホの活用について学内で検討している」

役員側質問

「令和2年度前期は遠隔授業となったが学力への影響はどうか。来年度への改善点はあるか」

本校側回答

「後期期末試験が終わったばかりのため詳細の説明は出来ないが、仮進級解除の比率が上がった。数学、物理の補習、2年生中心に放課後の課題指導（学校で終わらせて帰宅する）次年度に向けてオンライン、オンデマンドの活用なども含めて学習支援の取り組みについて検討中である」

以上